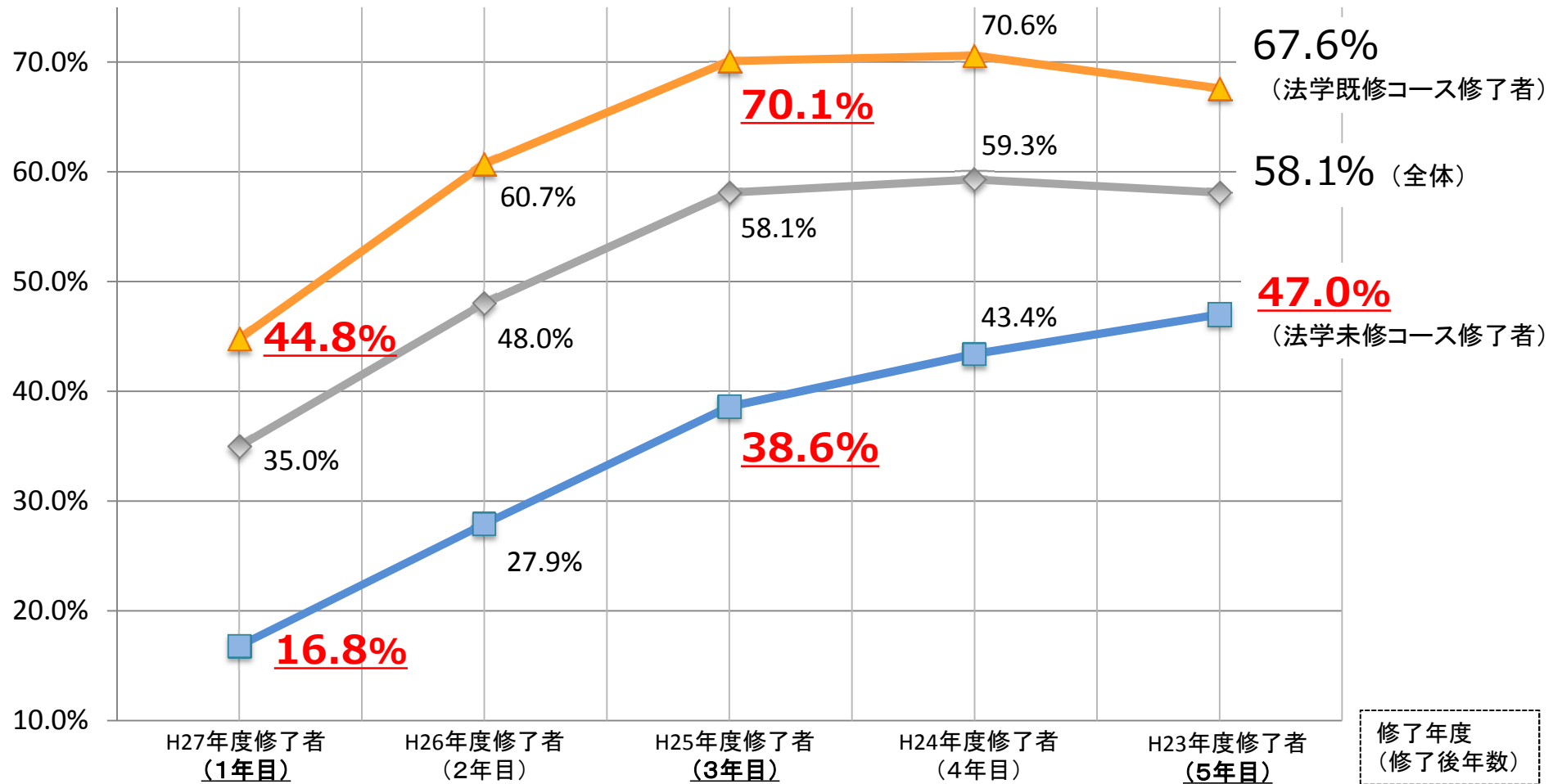


# 直近の修了年度別司法試験累積合格率

資料2-10  
(文部科学省作成資料)

法学既修コース修了者 ▲ は修了後3年目で累積合格率 **7割超**

法学未修コース修了者 ■ は修了後5年目で累積合格率 **約5割**



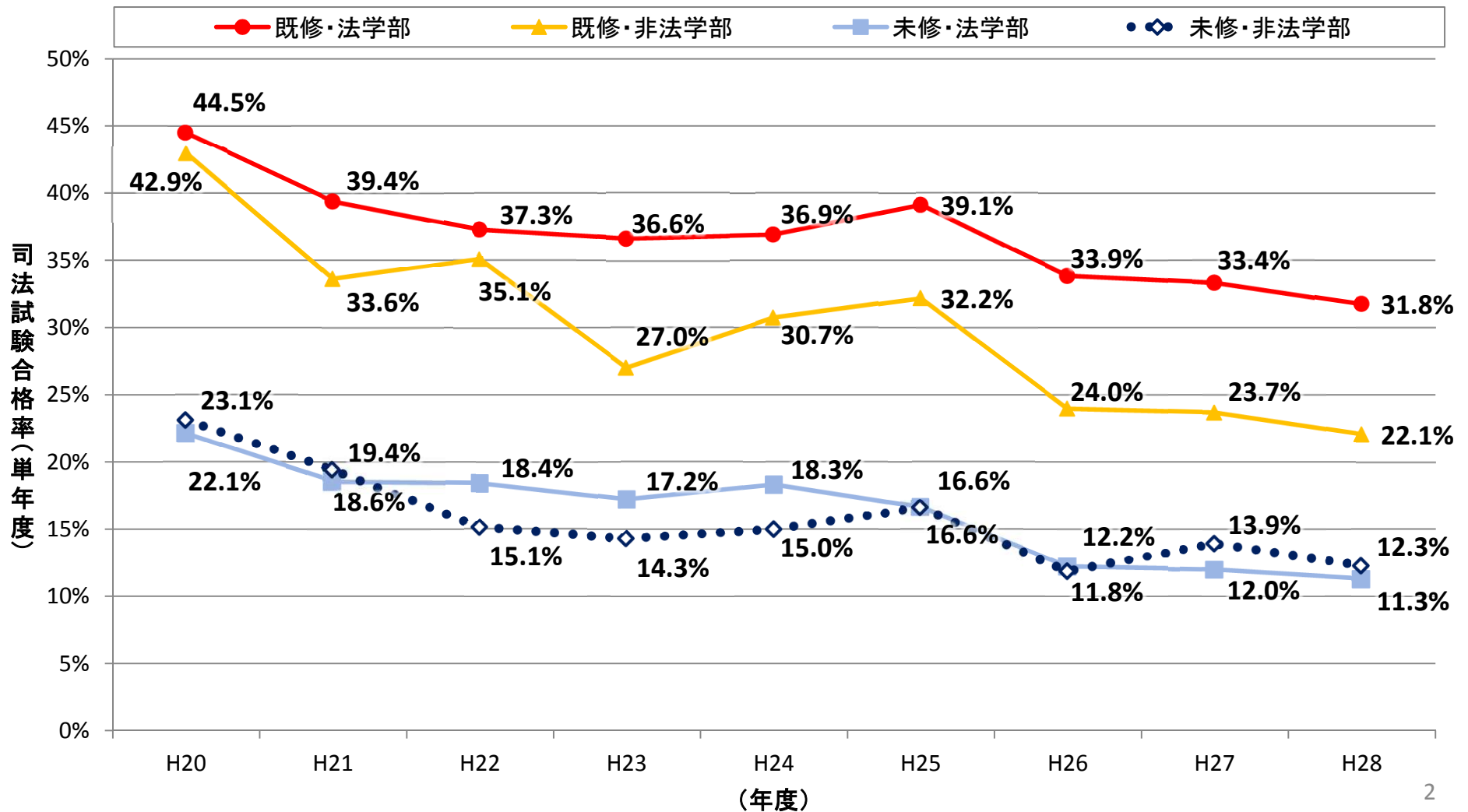
※ 募集停止・廃止校を除く42校を対象として、平成28年司法試験までのデータを用いて算出している。(平成28年9月時点)  
 ※ 司法試験累積合格率は、法科大学院修了者数のうちの司法試験実受験者数を用いて算出している。  
 ※ 横軸における各点はそれぞれ対象者が異なるため、純粋な経年変化を表すグラフではない。

# 既修・未修、法学部・非法学部別 司法試験合格率の推移

- 法学既修コース修了者(法学部出身)の司法試験合格率が最も高い。
- 近年、法学未修コース修了者(法学部出身)の司法試験合格率が最も低い。

※ 平成28年司法試験受験者(法科大学院修了資格)に占める割合

法学既修コース修了	法学部	42.3%	法学未修コース修了	法学部	36.2%
	非法学部	5.2%		非法学部	16.2%

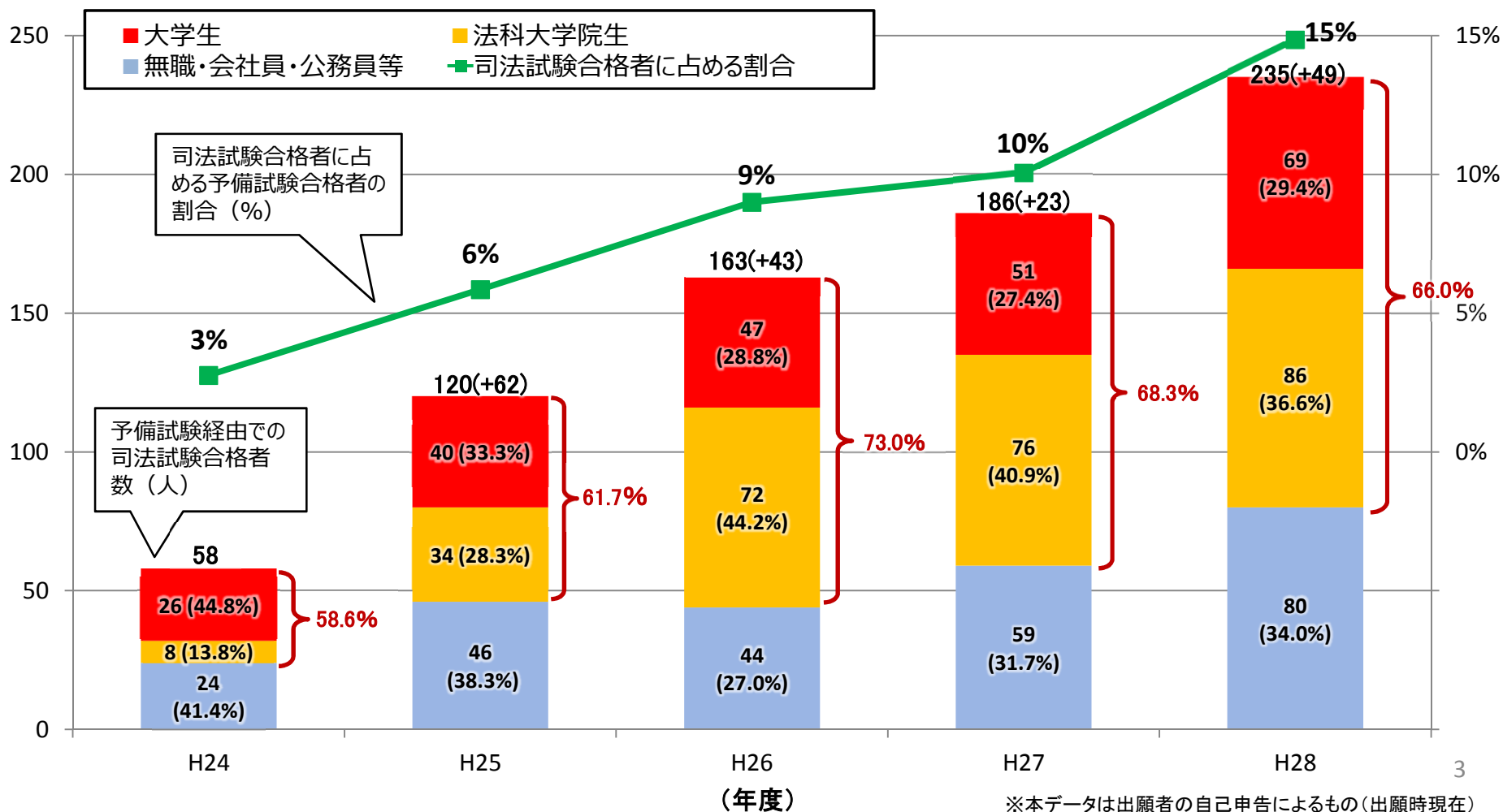


# 予備試験経由の司法試験合格者数と司法試験合格者に占める割合の推移

- 予備試験経由の司法試験合格者数、司法試験合格者に占める割合は増加傾向にある。
- そのうち、大学生又は法科大学院生の合格者が6～7割程度を占める。

【法曹養成制度改革推進会議決定(平成27年6月30日) 第4 司法試験 1予備試験 より抜粋】

予備試験は、経済的事情や既に実社会で十分な経験を積んでいるなどの理由により法科大学院を経由しない者にも法曹資格取得のための途を確保するものである。

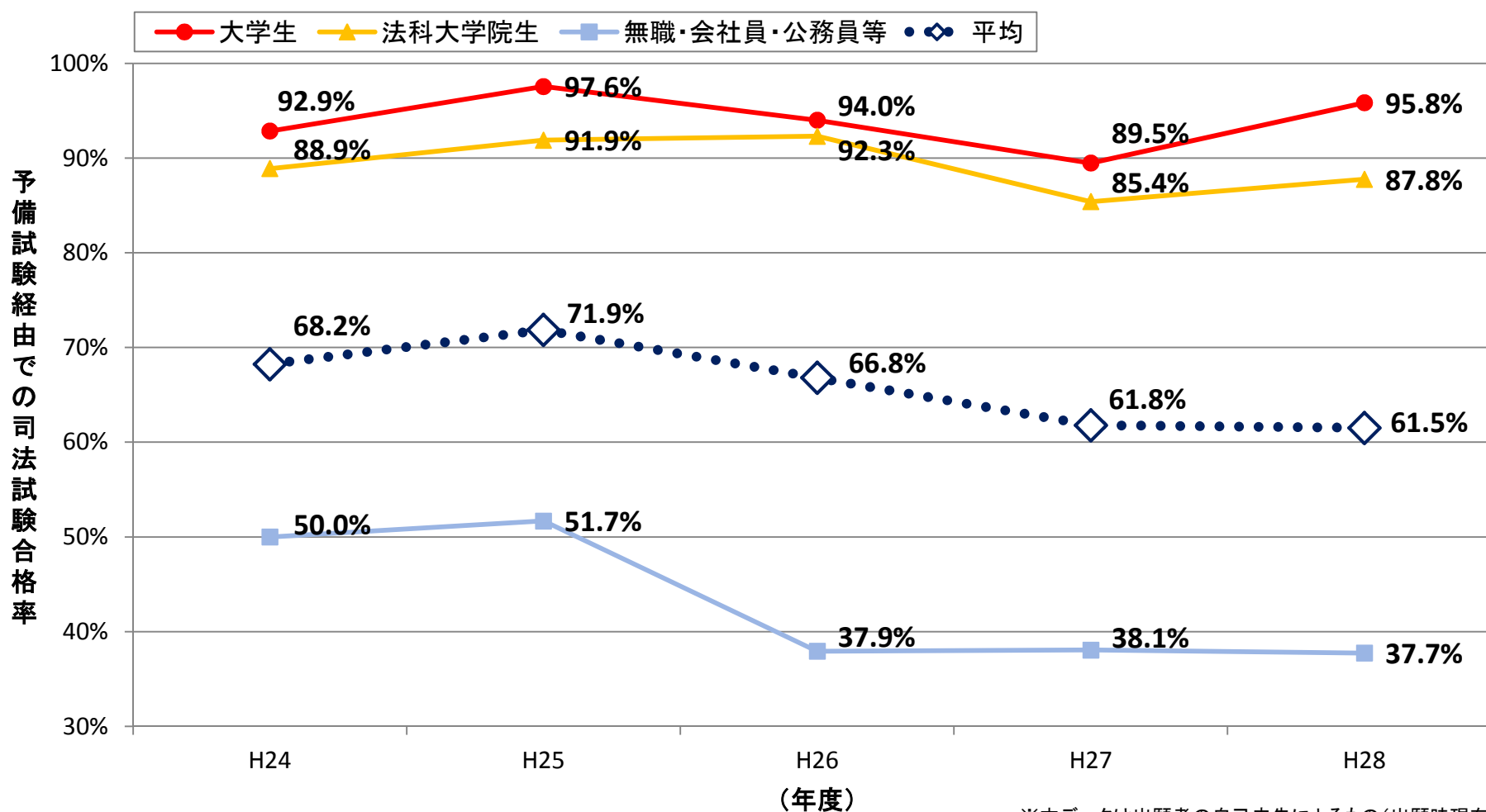


# 予備試験経由での司法試験合格率の推移

- ・ 大学生又は法科大学院生の予備試験合格者の司法試験合格率は、概ね9割以上で推移。
- ・ 上記以外の予備試験合格者の司法試験合格率は、4割に満たない。

【法曹養成制度改革推進会議決定(平成27年6月30日) 第4 司法試験 1予備試験 より抜粋】

予備試験は、経済的事情や既に実社会で十分な経験を積んでいるなどの理由により法科大学院を経由しない者にも法曹資格取得のための途を確保するものである。



※本データは出願者の自己申告によるもの(出願時現在)